

安全・安心 情報

Safety and security
information

◎問い合わせ
消費生活センター
☎ 23-7154

災害後は特に注意！住宅修理のトラブル

毎年、台風や大雨、大雪、地震などの自然災害により、全国各地で住宅の被害が発生しています。自然災害の発生後は、被災に便乗した悪質商法のトラブルが多くなる傾向があるため注意が必要です。

相談が多い事例として、被害状況を確認した修理業者が「今直さないと大変なことになる」などと不安をあおり、契約を急かす手口が見られます。工事の必要性や工期、費用が適正か判断するためにも、その場では契約せず、複数の業者から見積もりを取るなど十分に検討しましょう。不要な場合は、きっぱりと断ることも大切です。

事業者からの訪問や電話勧誘を受けて契約した場合は、クーリング・オフできる可能性があります。困ったときは一人で悩まず、近くの消費生活センターに相談ください。



国際交流員の ひとりごと

ジャルガルフー・
ヒシグジャルガルさん
(モンゴル国)



モンゴルの伝統料理ホーショール。牛肉か羊肉を使って作る揚げ餃子のような料理

最近の楽しみは、ヒシゲ料理!?

社会人になってからあまり料理をしてこなかった私ですが、都城にきた3年前から自炊する時間が取れるようになり、せっせと料理をするようになりました。ところが、作っているうちに日本食なのかモンゴル料理なのか、自分でも分からなくなってしまい…そう、これは「ヒシゲ料理」だ！と私だけの創作料理に日々チャレンジしています。

今年の冬に東京から引っ越してきた夫の趣味は、写真。気付けば私が作った夕飯を夫が撮影し、インスタグラムに投稿するのが日課になりました。しかし、1つだけ問題が。写真にこだわる夫が、なかなか「いただきます」をさせてくれません。都城の食材にモンゴルの感性を込めて、今日も我が家の食卓にはヒシゲ料理が並びます。

◎問い合わせ 国際化推進室 ☎ 23-2295



英語に親しむ授業づくり

A L Tは、学級担任や教科担任と協力し、語学指導を行っています。ゲームや会話を取り入れることで「生きた」英語に触れる機会をつくり、子どもたちが実際に言葉で伝える楽しさを感じられる工夫を凝らしています。

市内の小・中学校では、29人のA L T（外国語指導助手）が英語学習を補佐。市では、子どもたちが英語を楽しく学びながら、国際的な感覚や文化への理解を育む環境づくりに取り組んでいます。

◎問い合わせ 学校教育課
☎ 23-9544

A L Tと学ぶ、未来へつながる英語力

小・中学校で育む豊かな国際感覚

学校生活で広がる交流

授業以外に、給食や休み時間なども子どもたちと交流するA L T。日常の中で英語を使う楽しさが実感できるだけでなく、文化や習慣の違いを知るきっかけにもなっています。学校では、A L Tに積極的に話しかける子どもたちの姿があふれています。



message



ニコラス・ハドソンさん
(オーストラリア)

変わり続ける世界を学ぶために

言語を学ぶことは、子どもたちにとって世界を広げる大切な手段。英語を通して互いに学び合い、世界への視野を大きく広げていきましょう！

● あなたの年代は？（○をつけてください）

10代・20～30代・40～50代・60～70代・80代以上

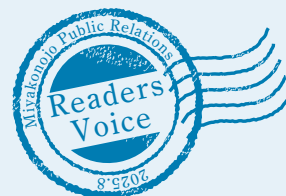
● 10月号で特に興味を持ったページのタイトル

● 10月号を読んだのわたしの一言

● 最近の関心事や身の回りのことなど

ご協力ありがとうございました。

※応募者の個人情報は、当選者発表と商品発送、質問などの回答以外には利用しません



読者のお便り

8月号に寄せられた皆さんからのお便りを紹介します

戦争体験者の「物の豊かさ＝平和ではない」という言葉にハッとしました。戦後80年の夏、改めて平和とは何かを考えさせられました。
(LINE投稿 夏の虫さん)

おかげ祭りには行けませんでした。写真から祭りのにぎやかさが伝わってきました。来年はぜひ浴衣で行きたいです。
(LINE投稿 A.Mさん)

物価高騰の中、水道料金改定もやむを得ないですね。老朽化した水道管の更新など、安心して暮らせるように整備を進めてほしいです。
(下川東4丁目 M.Oさん)

毎月隔々まで読み、勉強会に参加しています。デジタル講座でスマホも上達しました。今月のみやこんじょ弁も毎月の楽しみの一つです。
(菖蒲原町 マヤちゃんママさん)



母子保健推進員
原田 和子さん
(高崎町)

地域のためにささやかでも力になればとの思いで、母子保健推進員を引き受けて、早いもので19年。一期一会の出会いを大切に、お母さんたちに寄り添うことを日々心掛けています。

いつも頑張っているお母さんたちを応援しています。どうぞ気軽に、何でも話してくださいね。

母子保健推進員とは
市が委嘱する地域の子育て支援者です。赤ちゃんのいる家庭を訪問し、子育ての不安や悩みに寄り添い、必要な情報を提供します。行政と地域をつなぐ役割として、市では52人の母子保健推進員が次のような活動をしています。個人情報厳守しますので、子育てに関する悩みや疑問があるときは、安心して相談ください。
「こんにちは赤ちゃん事業」

市の子育て支援事業を紹介し、お母さんをサポートします。
「乳幼児健康診査の受診勧奨」
乳児・幼児健診を受けていない家庭を訪問し、健診の重要性を説明した上で受診を促します。
「幼児健康診査の補助」
幼児健診が円滑に進むよう、身長や体重の計測をサポートします。

市内の生後4カ月までの赤ちゃんがいる全家庭を訪問します。赤ちゃんとお母さんの様子を伺いながら、

市内在住で、母子保健推進員の活動に興味のある人は、気軽に市保健センターへ問い合わせください。

あなたも活動してみませんか

地域の子育て家庭を支える
**母子保健推進員を
知っていますか**



◎問い合わせ 市保健センター ☎ 36-5661